

【インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践】 シラバス抜粋

担当教員／Instructor	中俣 尚己
開講区分(開講学期)／Semester	春～夏学期
開講科目名／Course Name	応用言語学研究 A / Applied Linguistics A
曜日・時限／ Day・Time	木曜2限 / Thursday 2nd period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	大規模コーパスを利用した研究の方法
授業の目的と概要／Course Objective	<p>言語を対象とした研究をする上で、コーパスデータを参照することは欠かすことのできないプロセスとなってきた。コーパスの利用には既存の大規模コーパスを利用するものと、自分で収集した比較的小規模なデータ分析する方法があるが、この授業では、前者に焦点を当てる。国立国語研究所が開発した検索アプリケーション「中納言」を使い、『現代日本語書き言葉コーパス(BCCWJ)』『日本語日常会話コーパス(CEJC)』『日本語歴史コーパス(CHJ)』『多言語母語の日本語学習者横断コーパス(I-JAS)』など様々なコーパスを分析する方法を学ぶ。</p> <p>そして、最終的には文法項目1つを選び『文法コロケーションハンドブックE』の1記事を執筆することを目標とする。この記事はオンラインで公開されるほか、将来的に紙媒体での出版も検討している。</p>
教科書・教材／Textbooks	中俣尚己 / 「中納言」を活用したコーパス日本語研究入門 / くろしお出版 / 978-4823410598
参考文献／Reference	授業内で適宜指示する
コメント／Other Remarks	
特記事項／Special Note	<p>本授業ではただのレポートではなく『文法コロケーションハンドブックE』という商品価値のある教材の一記事を執筆します。成果物はweb公開されます。成果物の著作権を教員に譲渡してもらいます。もちろん、この成果物は参加者の公の業績としてカウントすることができます。</p>

担当教員／Instructor	中俣 尚己
開講区分(開講学期)／Semester	秋～冬学期
開講科目名／Course Name	応用言語学研究 B / Applied Linguistics B
曜日・時限／ Day・Time	木曜2限 / Thursay 2nd period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	プログラムを利用した研究の方法
授業の目的と概要／Course Objective	言語を対象とした研究をする上で、コーパスデータを参照することは欠かすことのできないプロセスとなってきた。コーパスの利用には既存の大規模コーパスを利用するものと、自分で収集した比較的小規模なデータ分析する方法があるが、この授業では、後者に焦点を当てる。自分で収集した様々なテキストデータを対象に、Pythonを使って分析する方法を学ぶ。最終的には汎用的な検索システムを自分の力で作り上げることを目的とする。
教科書・教材／Textbooks	浅尾仁彦・李在鎬／言語研究のためのプログラミング入門／開拓社／978-4758921886
参考文献／Reference	授業内で適宜指示する
コメント／Other Remarks	
特記事項／Special Note	前半は反転学習を取り入れることを検討している。